

公益財団法人 日本バレーボール協会

第7期・2016年度 事業報告書

(2016年4月1日～2017年3月31日)

1. 事業の概況

(1) 主な日本代表の戦績

女子シニア	リオデジャネイロオリンピック 5位入賞
男子シニア	リオデジャネイロオリンピック世界最終予選兼アジア大陸予選 7位
女子 U-19	第18回アジアジュニア女子選手権大会 準優勝
男子 U-20	第18回アジアジュニア男子選手権大会 4位
男子 U-19	アジアユース選手権大会優勝
女子 U-18	アジアユース選手権大会優勝

(2) 男子チーム、女子チーム新監督の選任

リオデジャネイロオリンピック後、男女とも東京2020大会に向けた新監督を選任した。候補者から今後の強化方針や目標についてのプレゼンテーションを受け、全日本監督としての資質や技量を考慮の上、監督候補者選考委員会が理事会に候補者を推薦、厳正なる審議を経て決定した。男子は総合得点が高い中垣内祐一氏を理事会に具申し、承認された。女子は自薦他薦により候補者を募り、中田久美氏以外の候補者が辞退、中田氏を理事会に具申し、承認された。

(3) コンプライアンス体制の強化

2015年度は、2016年3月に「コンプライアンス規程」の制定及び「コンプライアンス委員会」の設置を行ったが、2016年度はこれに引き続き「コンプライアンス宣言」の実施（JVA ホームページ等による周知）、「コンプライアンスホットライン制度運用規程」の制定及び「コンプライアンス違反の通報窓口」の運用を開始した。

また、JVA 及び全国加盟団体にコンプライアンス担当役員を置き責任体制を明確にし、日常的な連携を強化するとともに、コンプライアンス委員会の下部組織としてコンプライアンス部会（体罰・暴力・セクハラを担当）を立ち上げて、体罰・暴力・セクハラの撲滅に向けた体制と各種取り組みの強化を行った。

(4) 東京2020オリンピック 有明アリーナ建設交渉

有明アリーナの建設見直しに対して、トップリーグ連携機構に加盟する競技団体の連名で見直し撤回を求める嘆願書を提出。国際バレーボール協会（FIVB）から責任者を急遽招き、小池都知事を表敬訪問した。大会終了後の運営権を民間にゆだねるコンセッション方式の導入を検討することを方向性とし、有明アリーナの建設にこぎつけた。

(5) 決算について

今年度は2百万円の利益という予算で始まったが、前年のワールドカップでの男子チームの善戦による人気急上昇の結果、リオデジャネイロオリンピックへの男女そろっての出場に対する期待が高まり、大幅な増収・増益となった。

今年度は公益財団移行後初めてとなる7年ぶりの黒字となり、税引後の利益も496百万円と創立以来の最高益となった。

大幅増益の要因としては、国際事業でリオデジャネイロオリンピック世界最終予選を主とするチケット収入が、予算を230百万円以上上回ったほか、ほとんどの収入項目で予算を上回ったため。支出項目は予算を若干上回ったものの、収入の対予算増収がそのまま黒字の拡大につながった。

大幅な正味財産の増加に伴い、2020年の東京オリンピックに向けての強化等のために、総額410百万円の特定費用準備資金等を積み立てることとした。

(6) 事業区分の再整理

2011年(平成23年)2月1日の公益財団移行後、公益事業で4事業、収益事業等で4事業および法人会計の9事業で予算・決算等の外部への報告を行ってきた。7期目を迎え、複雑化した事業区分の再整理を内閣府に申請していたが、2017年4月3日に事業区分の再整理が認められ、来年度の2017年度より3事業での報告(公益、収益、法人それぞれ1本化)が可能になった。

新しい事業区分は以下の通り。

- ・公益事業会計(バレーボールの強化・普及・振興事業)
- ・収益事業会計(肖像使用・バレとも・物品販売等の公益事業の財源を獲得する事業)
- ・法人会計(管理)

(7) 2050年構想と中期計画策定の取り組み

2050年の到達点を「バレーボールをもう一度、日本のトップスポーツへ！」に置き、2020年までの数値目標、何を達成すべきかを具体的に盛り込み、目標を段階的に設定した。会長、業務執行理事から全職員までを5つの担当グループに分け、実施項目を精査中。実行段階へのスタートを切った。

(略称の解説)

	略称	正式名
(1)	JOC	公益財団法人日本オリンピック委員会
(2)	FIVB	国際バレーボール連盟
(3)	AVC	アジアバレーボール連盟
(4)	NTC	味の素ナショナルトレーニングセンター
(5)	JADA	公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
(6)	SFTC	スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局
(7)	Vリーグ機構	一般社団法人日本バレーボールリーグ機構
(8)	JVA	公益財団法人日本バレーボール協会

2. 事業内容

(1) 競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業

①日本代表チーム及び選手の育成・強化事業

全国の社会人、大学生、高校生の中から選抜された有力選手による日本代表チームを編成し、国際競技力向上を図るため以下の諸事業を行った。

1) 男子・女子シニア日本代表チーム強化合宿

本年度、5月に日本で行われた2016リオデジャネイロオリンピック世界最終予選兼アジア大陸予選に向け、男女ともに強化合宿を実施。男子は出場権を逃したが、女子は出場権を獲得。前回大会以上の結果を目標とし、国内外でさらに強化合宿を行ったが、5位入賞で大会を終えた。

■男子：国内合宿・NTCを中心に47日間実施
海外合宿・アメリカほかで11日間実施

■女子：国内合宿・NTCを中心に88日間実施
海外合宿・中国、ブラジル18日間実施

注) シニアチームとはトップレベル選手で構成された日本代表チーム。

2) 男子・女子U-23日本代表チーム強化合宿

2017年度に開催される第2回アジアU-23選手権大会及び第3回世界U-23選手権大会の出場を目指し選手強化合宿を行った。

■男子：国内合宿・NTCを中心に24日間実施

■女子：国内合宿・NTCを中心に59日間実施

注) U23チームとは、2017年の大会出場を予定するため1995年1月1日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム。

3) 男子・女子ユニバーシアード日本代表チーム強化合宿

2017年度に開催されるユニバーシアード大会(2年に1回開催)、また、女子はアジア東部地区大会でのメダル獲得を目標として選手強化合宿を行った。東アジア地区女子選手権大会では、決勝でチャイニーズタイペイに敗れ2位となった。

■男子：国内合宿・NTCほかで24日間実施

■女子：国内合宿・NTCほかで21日間実施

注) ユニバーシアードチームとは、主に大学生を中心に構成される日本代表チーム。

4) 男子・女子ジュニア日本代表チーム強化合宿

本年度は、第18回アジアジュニア選手権大会(U-20)でのメダル獲得を目標として選手強化合宿を行った。男子は3位決定戦で韓国にフルセットで敗れ4位。女子は決勝に進出するも、中国にフルセットで敗れ2位となった。

■男子：国内合宿・NTCほかで29日間程度実施

■女子：国内合宿・NTCを中心に43日間実施

注) ジュニアチームとは、男子が1997年1月1日以降に、女子が1998年1月1日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム。

5) 男子・女子ユース日本代表チーム強化合宿

2017年度に開催される第11回アジアユース選手権大会が、男女とも日程の変更で2017年3月に行われたため、大幅なスケジュール変更を余儀なくされた。男子は決勝で韓国を、女子は決勝で中国をストレートで破り、男女ともに優勝を果たした。

■男子：国内合宿・NTCほかで18日間程度実施

■女子：国内合宿・NTCを中心に35日間実施

注) ユースチームとは、2017年の大会出場のため、男子が1999年1月1日以降に、女子が2000年1月1日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム。

②将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業

1) 全国小学生・中学生・高校生長身選手発掘事業

将来有望な長身選手の発掘、育成、強化を目的に、公募および推薦によるオーディションを行い、選抜した有望選手の育成強化合宿を実施した。

③競技力向上にかかるバレーボール技術の調査研究及びスポーツ医・科学の調査研究事業

1) 日本代表選手の体力測定評価、測定結果に基づくトレーニング処方立案と提言を行った。

2) 日本チームとの対戦が想定される外国チームの戦力掌握を行った。

3) トレーナーの育成、教育を行い、日本代表チームに派遣した。

4) 日本代表チームにドクターを派遣し、歯科・整形外科診断を中心に選手の健康維持、怪我防止及び傷害発生時の対処、薬剤の手配を行った。

5) アンチ・ドーピングの啓発と普及及び研修を行った。

6) 日本開催の国際大会及びビーチバレーボールを含む主要国内大会で日本代表選手を中心にドーピング検査を実施した。

④日本代表選手団の国際大会派遣事業

選手強化合宿の効果を検証するとともに、実戦(試合)を経て得られる技術、戦術ほか総合的な競技力向上を目的として以下の各大会に日本代表選手団を派遣した。

1) シニア日本代表チーム

■男子：2016 リオデジャネイロオリンピック世界最終予選兼アジア大陸予選大会
(日本、5/28-6/5)

ワールドリーグ・2nd グループ (日本・エジプト・中国、6/17-7/3)

■女子：2016 リオデジャネイロオリンピック世界最終予選兼アジア大陸予選大会
(日本、5/14-22)

ワールドグランプリ (ブラジル・アメリカ・日本、6/9-6/26)

第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ、8/6-20)

2) ユニバーシアード日本代表チーム

■女子：東アジア地区女子選手権大会 (中国、7/19-24)

3) U-23 日本代表チーム

■男子：第5回アジアカップ男子大会 (タイ、9/22-28)

■女子：第5回アジアカップ女子大会 (ベトナム、9/14-20)

4) ジュニア日本代表チーム

■男子：第18回アジアジュニア男子選手権大会 (U-20) (チャイニーズタイペイ、7/9-7/17)

■女子：第18回アジアジュニア女子選手権大会 (U-19) (タイ、7/23-7/31)

5) ユース日本代表チーム

■男子：第11回アジアユース男子選手権大会 (U-19) (ミャンマー、3/28-4/5)

■女子：第11回アジアユース女子選手権大会 (U-18) (中国、3/5-3/13)

(2) 国際大会開催事業及び国際貢献・交流事業

①国際大会開催事業

1) 2016 リオデジャネイロオリンピックバレーボール世界最終予選兼アジア大陸予選大会

FIVB がオリンピックの予選として開催する 2016 リオデジャネイロオリンピック世界最終予選兼アジア大陸予選男女大会を FIVB と協力して日本で開催した。

■開催期間： 5/14（土）6/5（日）《男女各 7 試合日》

■参加国： 男女各 8 カ国

女子日本大会		男子日本大会	
出場枠	出場チーム	出場枠	出場チーム
開催国	日本	開催国	日本
アジア大陸予選枠	韓国	アジア大陸予選枠	イラン
	タイ		オーストラリア
	カザフスタン		中国
世界最終予選枠	オランダ	世界最終予選枠	フランス
	イタリア		ポーランド
	ペルー		ベネズエラ
	ドミニカ共和国		カナダ

■試合日：

・女子 5/14、15、17、18、20、21、22

・男子 5/28、29、31、6/1、2、4、5

■開催都市： 東京（東京体育館）

■試合数： 計 56 試合（女子：4 試合×7 日）、（男子：4 試合×7 日）

■観客数： ※日本戦

【女子大会】

試合日	対戦結果	観客数(視聴率)
5/14(土)	○日本 3-0 ペルー	10,000 名(11.5%)
5/15(日)	○日本 3-0 カザフスタン	9,500 名(11.3%)
5/17(火)	●日本 1-3 韓国	9,600 名(13.5%)
5/18(水)	○日本 3-2 タイ	10,000 名(12.9%)
5/20(金)	○日本 3-0 ドミニカ共和国	10,000 名(12.6%)
5/21(土)	●日本 2-3 イタリア	10,000 名(20.4%)
5/22(日)	○日本 3-2 オランダ	10,000 名(12.6%)

【男子大会】

試合日	対戦結果	観客数(視聴率)
5/28(土)	○日本 3-1 ベネズエラ	10,000 名(15.2%)
5/29(日)	●日本 0-3 中国	10,000 名(13.8%)
5/31(火)	●日本 0-3 ポーランド	10,000 名(10.7%)
6/1(水)	●日本 1-3 イラン	10,000 名(10.9%)
6/2(木)	●日本 0-3 オーストラリア	10,000 名(10.0%)
6/4(土)	●日本 1-3 カナダ	10,000 名(8.2%)
6/5(日)	○日本 3-0 フランス	10,000 名(8.2%)

➤ 最終順位：

【女子大会】

1 位：☆イタリア	2 位：☆オランダ	3 位：☆日本
-----------	-----------	---------

4位：☆韓国	5位：タイ	6位：ドミニカ共和国
7位：ペルー	8位：カザフスタン	

【男子大会】

1位：☆ポーランド	2位：☆イラン	3位：☆フランス
4位：☆カナダ	5位：オーストラリア	6位：中国
7位：日本	8位：ベネズエラ	

☆印はリオデジャネイロオリンピックの出場権を獲得

2) FIVB ワールドリーグ 2016

FIVB は、男子バレーボールの世界一を決める本大会を毎年開催している。今年はリオデジャネイロオリンピック開催年となり、通常はインターコンチネンタル・ラウンドを全6週で開催するが全3週で開催され、日本はインターコンチネンタル・ラウンド（グループ2）の第1週（プールB）をFIVBと協力して開催した。

- 開催期間：6月17日（金）、18日（土）、19日（日）
- 開催都市：大阪（大阪市中央体育館）
- 参加国：日本、キューバ、フィンランド、韓国
- 試合数：計6試合（2試合×3日）
- 観客数：6月17日（金） 6,700名（日本3-0 フィンランド）

6月18日（土） 8,600名（日本2-3 キューバ）

6月19日（日） 9,000名（日本3-0 韓国）

3) FIVB ワールドグランプリ 2016

FIVB は女子バレーボールの世界一を決める本大会を毎年開催している。本年の日本開催は、予選ラウンドの第3週（プールI）をFIVBと協力して開催した。

- 開催期間：6月24日（金）、25日（土）、26日（日）
- 開催都市：京都（島津アリーナ京都）
- 参加国：日本、ロシア、タイ、セルビア
- 試合数：計6試合（2試合×3日）
- 観客数：6月24日（金） 5,300名（日本3-0 タイ）

6月25日（土） 6,500名（日本2-3 セルビア）

6月26日（日） 6,500名（日本1-3 ロシア）

②国際貢献・交流事業

1) FIVB 及び AVC 役員等派遣事業

世界のバレーボール界を統轄する組織である国際バレーボール連盟（FIVB）及びアジアの統轄組織であるアジアバレーボール連盟（AVC）の各種委員会委員として、理事会ほか各種会議に当該メンバーを派遣するとともに、国際レベルの指導者講習会への講師派遣、各国で開催される世界大会、アジア大会ほかに競技役員、審判員を派遣した。

2) バレーボールバンク事業 ※社会貢献事業にも同一活動の内容を記載

発展途上国へ競技会で使用したり、全国のバレーボール愛好者から寄贈されたボール

や、バレーボール用器具を寄贈して競技の普及を図り、同時に様々なバレーボール情報を提供し、発展途上国のスポーツ振興に寄与した。

あわせて同事業の戦略的展開を通じ、寄贈対象となった各国のバレーボール協会（NF）との友好を結び、連携強化を図った。

（3）バレーボール教室、講習会事業、指導者、審判員養成及び資格認定・登録事業

① ゴールドプラン関連事業

1) アシックス・ミズノバレーボール教室

〈アシックス教室〉

No.	開催期日	開催地	会場	未経験者数	初心者数	経験者数	合計
1	9/4（日）	青森県	弘前市河西体育センター	3	19	69	91
2	9/11（日）	秋田県	潟上市天王総合体育館	0	24	57	81
3	10/15（土）	富山県	富山県総合体育センター	61	41	12	114
4	1/15（日）	京都府	伏見港公園体育館	19	39	5	63
5	2/5（日）	沖縄県	宜野座村営体育館	15	82	0	97

〈ミズノ教室〉

No.	開催期日	開催地	会場	未経験者数	初心者数	経験者数	合計
1	9/17（土）	埼玉県	坂戸市総合運動公園体育館	33	60	16	109
2	11/6（日）	福井県	坂井中学校体育館	62	50	0	112
3	11/26（日）	徳島県	羽ノ浦総合国民体育館	7	45	27	79
4	12/11（日）	岐阜県	岐南町総合体育館	42	63	31	136

2) バレーボールをやってみよう～Vリーグ選手と一緒にバレーボール教室

No.	開催期日	開催地	Vリーグチーム	参加者数 男子	参加者数 女子	未経験者数	保護者・指導者数	合計
1	7/17（日）	三重県	サントリーサンバーズ	52	33	16	54	155
2	7/17（日）	宮城県	仙台ベルフィーユ	21	81	35	81	218
3	8/6（土）	北海道	PFU ブルーキャッツ	21	84	14	69	188
4	8/14（日）	神奈川	富士通カワサキレッドスピリッツ	18	54	18	57	147
5	8/21（日）	大阪府	パナソニックパンサーズ	17	80	30	62	189
6	8/27（土）	鹿児島	東京ヴェルディ	25	85	40	50	200
7	9/10（土）	沖縄県	上尾メディックス	42	55	8	72	177

8	9/11 (日)	宮崎県	大分三好ヴァイセドラー	42	143	23	119	327
9	9/22 (木・祝)	鳥取県	東京ヴェルディ	22	79	8	95	204
10	9/24 (日)	静岡県	東レアローズ	22	33	0	83	138

3) 全国小中学生一貫バレーボール教室

No.	開催期日	開催地	小学生 選手数	中学生 選手数	小学生 指導者数	中学生 指導者数	合計
1	11/3 (木・祝)	長崎県	65	89	9	10	173
2	11/27 (日)	兵庫県	95	49	43	4	191

4) 幼稚園・保育園等でのソフトバレーボール実践事業

No.	開催期日	開催地	幼稚園・保育園名	参加園児 数
1	5/18 (水)	岡山県瀬戸内市	社会福祉法人報恩会牛窓ルンビニ保育園	50
2	7/7 (木)	北海道札幌市	学校法人札幌豊学園札幌ゆたか幼稚園	16
3	10/11 (火)	秋田県大仙市	認定こども園 せんぼくちびっこらんど みどり園	62
4	10/14 (金)	滋賀県大津市	大津市立田上幼稚園	25
5	10/21 (金)	三重県四日市市	社会福祉法人川島福祉会かわしま保育園	28
6	11/14 (月)	長崎県時津町	学校法人時津学園時津幼稚園	38
7	1/10 (火)	長野県安曇野市	安曇野市立堀金保育園	72

5) 全国小学生バレーボール指導者講習会

〈一次講習会〉

開催期日	開催地	会 場	受講者数
6/11 (土) ~ 12 (日)	宮崎県	宮崎県総合運動公園体育館	154
8/20 (土) ~ 21 (日)	栃木県	真岡市武道体育館	257
9/3 (土) ~ 4 (日)	福島県	福島市国体記念体育館	175
9/24 (土) ~ 25 (日)	和歌山県	和歌山ビックウェーブ	171
10/1 (土) ~ 2 (日)	北海道	北星学園大学	120

〈二次講習会〉

開催期日	開催地	会 場	受講者数
9/10 (土) ~ 11 (日)	新潟県	亀田総合体育館	93
9/17 (土) ~ 18 (日)	秋田県	サン・スポーツランド協和体育館	91
9/24 (土) ~ 25 (日)	山梨県	敷島体育館	118
10/29 (土) ~ 30 (日)	愛媛県	松前公園体育館	64
10/1 (土) ~ 2 (日)	長崎県	三菱重工総合体育館	148
12/17 (土) ~ 18 (日)	兵庫県	尼崎市立双星高校体育館	72

〈三次講習会〉

開催期日	開催地	会 場	受講者数
11/19 (土)～20 (日)	山形県	山形市総合スポーツセンター	92
1/14 (土)～15 (日)	奈良県	奈良県立橿原体育館	48
1/21 (土)～22 (日)	群馬県	草津総合体育館	116
2/4 (土)～5 (日)	福岡県	北九州市浅生スポーツセンター	102

6) 全国中学生バレーボール指導者研修会

開催期日	開催地	会 場	受講者数
8/28 (日)	大阪府	相愛中学・高等学校	13
10/9 (日)	熊本県	八代市立第二中学校	35
10/8 (土)	富山県	砺波市立庄西中学校	38
10/15 (土)	福島県	福島市立信陸中学校	15
10/23 (日)	高知県	南国市立香南中学校	31
10/29 (土)～30 (日)	北海道	稚内市立稚内南中学校	13
11/27 (日)	埼玉県	鶴ヶ島市立西中学校	6
1/5 (木)～6 (金)	北海道	芦別市総合体育館	53
1/8 (日)	広島県	猫田記念体育館	5
2/5 (日)	愛知県	岡崎市立竜海中学校	13
2/11 (土)	東京都	味の素ナショナルトレーニングセンター	6

②指導者養成事業

1) 都道府県別バレーボール指導者研修会

No.	開催期日	開催地	会 場	受講者数
1	7/16 (土)	山形県	山形市江南体育館	25
2	7/24 (日)	埼玉県	西武学園文理中学高等学校体育館	67
3	8/13 (土)	東京都	中村中学校高等学校体育館	16
4	8/13 (土)～14 (日)	佐賀県	木村記念体育館	28
5	8/14 (日)	三重県	亀山西野公園体育館	20
6	8/27 (土)	熊本県	熊本市立江南中学校体育館	30
7	9/19 (月・祝)	大阪府	大阪府立藤井寺工科高等学校	69
8	9/22 (木・祝)	大分県	ホルトホール会議室	24
9	9/24 (土)～25 (日)	静岡県	静岡産業大学情報学部体育館	226
10	9/25 (日)	神奈川県	藤嶺学園藤沢高等学校体育館	16
11	10/23 (日)	高知県	南国市立香南中学校体育館	31
12	10/30 (日)	島根県	出雲市立湖陵中学校体育館	15
13	11/13 (日)	山梨県	山梨県立甲府工業高等学校体育館	8
14	11/13 (日)	徳島県	阿南工業高等専門学校体育館	15
15	11/19 (土)	青森県	青森県立木造高等学校体育館	18
16	11/19 (土)	山口県	誠英高等学校体育館	33
17	11/2 (日)	滋賀県	瀬田公園体育館	43
18	12/3 (土)	山形県	山形市江南体育館	18

19	12/3 (土)	千葉県	木更津工業高等専門学校体育館	27
20	12/4 (日)	岐阜県	イビデン健康保険会館	105
21	2/18 (日)	茨城県	勝田工業高等学校体育館	45
22	2/18 (日)	石川県	国立能登青少年交流の家	80

2) ソフトバレーボールリーダー・マスターリーダー養成講習会

〈ソフトバレーボール・リーダー養成講習会〉

No.	開催期日	開催地	会場	受講者数
1	5/7 (土)～8 (日)	山形県	山形県体育館	38
2	6/11 (日)～12 (日)	広島県	府中市立総合体育館	60
3	6/18 (土)～19 (日)	新潟県	柏崎市西山総合体育館	69
4	6/18 (土)～19 (日)	山口県	山口市山口南総合センター	46
5	6/25 (日)～26 (日)	香川県	高松市仏生山公園体育館	35
6	7/2 (土)～3 (日)	宮崎県	宮崎市青少年プラザ	30
7	7/2 (土)～3 (日)	静岡県	焼津高等学校体育館	45
8	7/9 (土)～10 (日)	福島県	伊達体育館	160
9	7/16 (土)～17 (日)	沖縄県	浦添市立牧港小学校体育館	39
10	7/23 (土)～24 (日)	三重県	西野公園西野体育館	49
11	8/6 (土)～7 (日)	長野県	サンビレッジ体育館	45
12	9/3 (土)～4 (日)	兵庫県	たつの市立龍野体育館	36
13	9/11 (日)	岡山県	落合総合運動公園	67
14	9/25 (日)	高知県	高知市立潮江東小学校	54

〈ソフトバレーボール・マスターリーダー養成講習会〉

No.	開催期日	開催地	会場	受講者数
1	6/25 (土)～26 (日)	東京都	東京三菱 UFJ 池尻クラブ体育館	89

3) 日本体育協会公認上級コーチ、コーチ、上級指導員、指導員、バレーボール専門教科認定講習会を開催した。

〈バレーボール上級コーチ専門科目講習会〉

No.	開催期日	開催地	会場	受講者数
1	8/5 (金)～7 (日)	東京都	明治学院大学	19

〈バレーボールコーチ専門科目講習会〉

No.	開催期日	開催地	会場	受講者数
1	8/5 (金)～9 (火)	東京都	明治学院大学	28

〈全国大学バレーボール部員対象バレーボール指導員専門科目講習会〉

No.	開催期日	開催地	会場	受講者数
1	8/5 (土)～8 (月)	東京都	明治学院大学	99
2	8/7 (日)～10 (水)	大阪府	大阪府立大学工業高等専門学校	72

〈日本クラブバレーボール連盟対象バレーボール指導員専門科目講習会〉

No.	開催期日	開催地	会 場	受講者数
1	8/27 (土) ~28 (月)	北海道	東海大学札幌キャンパス	48
2	11/12 (土) ~13 (日)	北海道	東海大学札幌キャンパス	32

4) 公認講師認定講習会・公認講師研修会・公認指導者研修会

No.	開催期日	開催地	会 場	受講者数
1	8/27 (土)	大阪府	ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター	85

③審判員等養成事業

講習会名等	開催期間	会 場	受講者数
全国ラインジャッジ・クリニック	4/29 (金・祝) ~5/1 (日)	大阪市中央体育館	58
国際審判員・国際候補審判員技術強化事業	4/29 (金・祝) ~5/2 (月)	大阪市中央体育館	30
全国6人制審判講習会	3/20 (月・祝)	慶応義塾大学中等部	350
全国9人制審判講習会	3/27 (月)	住友電工体育館	198
ブロックA級審判員講習会	4/10 (日) ~9/25 (日)	全国9ブロック	559
A級候補審判員講習会 (ACキャンプ)	8/12 (金) ~8/15 (月)	近畿大学記念会館	75
B級審判員講習会 (レフェリーキャンプ)	8/15 (月) ~8/17 (水)	近畿大学記念会館	84
トップチーム連携事業	5月~10月	チャレンジチーム プレミアチーム	各チームへ 2名参加
A級審判員研修会 (6人制)	11/28 (月) ~ 11/30 (水) 11/29 (火) ~12/1 (木)	大田区総合体育館 他 稲永スポーツセンター 他	110
A級審判員研修会 (9人制)	11/11 (金) ~14 (月) 11/17 (木) ~20 (日)	ハンナリーズアリーナ 他 大阪市中央体育館	33 33
ビーチバレーボール審判員育成モデル講習会	3/26 (土) ~27 (日)	川崎マリエン	2日間 156
ビーチバレーボール審判員ブロック講習会	5/28 (土) 5/29 (日)	愛媛県伊予市五色姫海浜公園 青森市サンセットビーチ あさむし	28 25
ビーチバレーボール審判員研修会	8/5 (金) ~7 (日)	川崎マリエン	14
ビーチバレーボールトップ選手連携事業	5/3 (火) 5/14 (土)	JBV ツアー お台場大会 JVB サテライト 横浜大会	150

④指導者等資格認定事業

1) 指導者資格認定事業

上級コーチ、コーチ、指導員の他に下記の認定と登録を行った。

○小学生バレーボール指導者資格 ○ソフトバレーボール・リーダー

○ソフトバレーボール・マスターリーダー ○公認講師

2) 審判員資格認定事業

下記の審判員資格の認定と登録を行った。

○A級審判員 ○A級候補審判員 ○B級審判員 ○C級審判員

(4) 全国大会等国内競技会開催事業

①天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会

国内最高峰大会として位置づけられている大会で、本年はその10回記念大会としてブロックラウンドからJOCカップ選抜チームの出場とファイナル・ラウンドでは、高円宮妃久子殿下にお成りいただいた。

■都道府県ラウンド

開催期間：4/29（金・祝）～7/24（日）

開催地：各都道府県内体育館（出場：男子502チーム、女子509チーム）

（昨年：男子466チーム、女子485チーム）

（来場者数：38,470人）

■ブロックラウンド

開催期間：9/3（土）～10/29（土）

開催地：各ブロック内体育館（出場：男子115チーム、女子110チーム）

（昨年：男子107チーム、女子106チーム）

（来場者数：12,067人）

JOC選抜チーム出場 男子：茨城、栃木、山梨、千葉、東京、神奈川、静岡

女子：群馬、埼玉、東京、静岡

■ファイナル・ラウンド

開催期間：12/16（金）～18（日）、24日（土）～25日（日）

開催地：東京都 東京体育館・大田区総合体育館（1回戦～決勝）

（男女16チーム）12/16-25の入場者数：26,008人

優勝 男子：東レアローズ、女子：久光製薬スプリングス

準優勝 男子：豊田合成トレフェルサ、女子：日立リヴァーレ

②全日本バレーボール小学生大会

■都道府県大会

開催期間：4/23（土）～7/3（日）

開催地：各都道府県内体育館

参加チーム：5,401チーム（男子924、女子4,089、混合388）

■全国大会

開催期間：8/9（火）～12（金）

開催地 : 東京都 東京体育館他 (都道府県代表 136 チーム)
 優勝 男子: 片桐VBC (奈良県)、女子: HANDTIGERS (神奈川県)
 混合: 山王 (京都府)

③全国都道府県対抗中学バレーボール大会

開催期間 : 12/25 (日) ~ 28 (水)
 開催地 : 大阪府 大阪中央体育館他 (男女 96 チーム)
 優勝 男子: 熊本県、女子: 広島県

④全日本バレーボール高等学校選手権大会

開催期間 : 1/4 (水) ~ 8 (日)
 開催地 : 東京 東京体育館 (男女 104 チーム)
 優勝 男子: 駿台学園高等学校、女子: 下北沢成徳高等学校

⑤秩父宮賜杯・秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学選手権大会

■秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会
 開催期間 : 11/28 (月) ~ 12/3 (土)
 開催地 : 愛知県 稲永スポーツセンター他 (64 チーム)
 優勝 中央大学、準優勝 東海大学

■秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会
 開催期間 : 11/28 (月) ~ 12/4 (日)
 開催地 : 東京都 大田区総合体育館他 (119 チーム)
 優勝 鹿屋体育大学、準優勝 筑波大学

⑥前記各競技会に加え本会主催、開催地都道府県協会等の主管により、次の各種別全国大会を開催した。※大会結果はJVAのHPをご確認ください。

大会名等	開催期間	会場	参加チーム数
全日本9人制実業団女子選手権大会	7/1 (金) ~ 4 (金)	滋賀県立体育館他	23
全日本9人制実業団男子選手権大会	7/22 (金) ~ 25 (月)	松江市総合体育館他	56
全日本9人制クラブカップ女子選手権大会	8/4 (木) ~ 7 (日)	千葉県総合スポーツセンター体育館他	53
全日本9人制クラブカップ男子選手権大会	8/11 (木) ~ 14 (日)	三重県営サンアリーナ他	56
全国9人制社会人西ブロック男女優勝大会	10/22 (土) ~ 24 (月)	別府市総合体育館 (男子) 別府市民体育館 (女子)	36 23
全国9人制社会人東ブロック男女優勝大会	11/3 (木) ~ 6 (日)	江別市民体育館他	男 36、 女 17
全日本9人制総合男子選手権大会	11/11 (金) ~ 14 (月)	ハンナリーズアリーナ	56
全日本9人制総合女子選手権大会	11/18 (金) ~ 20 (日)	大阪中央体育館他	51
黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会	4/29 (金) ~ 5/5 (木)	大阪中央体育館他	男女 16

全日本クラブカップ男子選手権大会	7/28 (木) ~31 (日)	仙台市体育館他	56
全日本クラブカップ女子選手権大会	8/12 (金) ~14 (日)	大阪府中央体育館他	53
全国ヤングクラブ優勝大会	9/24 (土) ~25 (日)	大阪府立門真スポーツセンター他	男女 108
全国ソフトバレー・シルバーフェスティバル	10/7 (金) ~ 9 (日)	アミノバリューホール	54
全国ソフトバレー・レディースフェスティバル	10/28 (金) ~30 (日)	那覇市民体育館	64
全国ソフトスポレクフェスティバル	11/11 (金) ~13 (日)	松江市総合体育館	48
全国ソフトバレーフリーフェスティバル	3/3 (金) ~5 (日)	町田市立総合体育館	38
全国ヴィンテージ8'S交流大会	9/30 (金) ~10/2 (日)	函館アリーナ他	64
全国ママさんバレーボール大会	8/5 (金) ~7 (日)	福島県国体記念体育館他	48

⑦公益財団法人日本体育協会等との共催により、下記の大会を開催した。

1) 国民体育大会バレーボール競技

期 日：10/2 (日) ~ 5 (水)

開催地：岩手県一関市・花巻市

2) 日本スポーツマスターズ 2016

期 日：9/24 (土) ~27 (火)

開催地：秋田県秋田市

⑧公益財団法人全国高等学校体育連盟等との共催により、下記の大会を開催した。

1) 全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技

期 日：7/29 (金) ~8/2 (火)

開催地：山口県山口市・宇部市

2) 全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技

期 日：8/3 (水) ~7 (日)

開催地：山口県山口市・防府市

3) 全国高等学校定時制・通信制大会

期 日：8/3 (水) ~7 (日)

開催地：神奈川県平塚市

⑨公益財団法人日本中学校体育連盟等との共催により下記の大会を開催した。

1) 全日本中学校バレーボール選手権大会 (男女大会)

期 日：8/19 (金) ~22 (月)

開催地：富山県魚津市・黒部市・入善町

(5) ビーチバレーボール事業

①競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業

1) ビーチバレーボール男女日本代表チーム

本年度、男子・女子ともにリオデジャネイロオリンピック出場権獲得を最大の目標として活動してきたが、残念ながらオリンピックの出場権を獲得することができず、ビーチバレーボール競技がオリンピックに正式に採用 (1996 年アトランタオリンピック) されて以来続いていた男女いずれかのオリンピック出場が途絶えることとなった。

アンダーカテゴリーについては2016年3月タイにて開催された第1回アジアU-21選手権大会において村上礼華（松山東雲大学2年）/出口花（福知山成美高校3年）ペアが準優勝、2016年5月スイスにて開催された世界U-21選手権大会に出場し9位タイの成績で終了した。

2017年3月タイにて開催された第2回アジアU-21選手権大会においても同ペアが出場、優勝を目指して臨んだものの再び準優勝となったが、7月に中国で開催される世界選手権の出場権を獲得した。2017年1月開催の春高バレーに出場した東谷玲衣奈（八王子実践高校2年）/菊地美結（共栄学園高校2年）ペアがビーチバレーボールの強化練習会に参加したのち、初めての国際大会として同大会に出場し、11位タイの成績を残した。

2) JVA ビーチバレーボール強化体制

リオデジャネイロオリンピックの結果を踏まえ、また2020年東京オリンピックに向けた集中強化と強化基盤整備を早急に進めるべく、強化委員会の組織体制を見直した。女子強化については指導経験が豊富で国際的にも成績を残しているソルストリ・マルコ氏（イタリア）を2017年1月より招聘した。

②講習会開催事業

1) ビーチバレーボール指導者講習会（参加者80名）

ビーチバレーボール指導者を対象に、宮城県、愛媛県で開催しました。

- ・9/11(日) 宮城県七ヶ浜町菖蒲田海岸
- ・9/24(土)～25(日) 愛媛県伊予市五色姫海浜公園

ビーチバレーボール選手の強化育成のみならず、指導者等の人材を増加や資質の向上が急務と考えている。

③全国大会等国内競技会開催事業

1) ジャパンビーチバレーボールツアー

昨年度に引き続き国内での競技性の高い大会による競技力向上を目指し、ジャパンビーチバレーボールツアーを実施した。さらに今年度はグランフロント大阪大会をツアーファイナルとして、日本の上位チームが集まる大会として開催した。

日本におけるビーチバレーボール競技のより一層の確立と、日本から世界に羽ばたくビーチバレーボール選手の輩出を目的として、5月～10月に全国各地で大会を開催した。

2016年度開催期間並びに開催都市、参加チーム数並びに優勝チーム

ジャパンビーチバレー ボールツアー	開催期間	開催都市	参加 チーム数	優勝チーム
第1戦 東京大会	5/3(火・祝) ～5(木・祝)	東京都 港区	男子：12	高橋巧/上場雄也
			女子：12	草野歩/長谷川暁子
第2戦 志摩大会	6/18(土) ～19(日)	三重県 志摩市	男子：16	高橋巧/長谷川徳海
			女子：16	草野歩/永田唯
第3戦 南あわじ大会	6/25(土) ～26(日)	兵庫県 南あわじ市	男子：16	村上斉/清水啓輔
			女子：16	草野歩/長谷川暁子
第4戦 東京大会	7/1(金)～ 3(日)	東京都 港区	男子：12	西村晃一/仲矢靖央
			女子：12	石井美樹/村上めぐみ
第5戦 行橋大会	7/17(日) ～18(月・ 祝)	福岡県 行橋市	男子：16	西村晃一/仲矢靖央
			女子：16	草野歩/長谷川暁子

第6戦 大洗大会	7/23 (土) ～24 (日)	茨城県 東茨城郡大洗 町	男子：16	白鳥勝浩/青木晋平
			女子：16	石井美樹/村上めぐみ
第7戦 若狭おぼま大会	8/6 (土)～ 7 (日)	福井県 小浜市	男子：16	高橋巧/長谷川徳海
			女子：14	石井美樹/村上めぐみ
第8戦 伊予市大会	9/3 (土)～ 4 (日)	愛媛県 伊予市	男子：16	高橋巧/長谷川徳海
			女子：16	石井美樹/村上めぐみ
第9戦 東京大会	9/17 (土) ～19 (月・ 祝)	東京都 港区	男子：12 女子：12	上場雄也/長谷川徳海 石井美樹/村上めぐみ
第10戦 宮崎大会/ 霧島酒造オープン	9/23 (金) ～25 (日)	宮崎県 都城市	男子：12	白鳥勝浩/庄司憲右
			女子：12	草野歩/長谷川暁子
第11戦 川崎大会/ 川崎市長杯	10/7 (金) ～9 (日)	神奈川県 川崎市	男子：12	白鳥勝浩/高橋巧
			女子：12	西堀健実/溝江明香
第12戦 平塚大会	10/2 (土) ～23 (日)	神奈川県 平塚市	男子：12	白鳥勝浩/高橋巧
			女子：12	草野歩/長谷川暁子

【ジャパンビーチバレーボールツアーファイナル】

大会名	開催期間	開催都市	参加 チーム数	優勝チーム
グランフロント大阪大会	10/1 (土) ～2 (日)	大阪府 大阪市	男子：8	高橋巧/長谷川徳海
			女子：8	石井美樹/村上めぐみ

2) 国民体育大会ビーチバレーボール競技 (イベント事業)

次年度、愛媛国体より正式種目となることを見据え実施した。

大会名等	開催期間	開催都市	参加 チーム数	優勝チーム
第71回国民体育大会 イベント事業	8/19 (土) ～21 (月)	岩手県 陸前高田市	男子：12	福井県：土屋宝土/道木優輝
			女子：12	東京都：長谷川暁子/草野歩

3

3) 日本選手権

各世代の日本一を決める日本選手権大会として、本年は以下の日程で実施した。

大会名等	開催 期間	開催都市	参加 チーム数	優勝チーム
第27回全日本ビーチバレー 女子選手権大会	7/28 (木) ～31 (日)	大阪府 泉南郡岬町	女子：55	石井美樹/村上めぐみ
第15回全日本ビーチバレー ジュニア男子選手権大会	8/5 (金) ～8 (月)	大阪府 阪南市	男子：52	港南高 (兵庫県) 藤本直樹/原宏之
ビーチバレージャパン女子 ジュニア選手権大会	8/11 (木) ～14 (日)	愛媛県 伊予市	女子：52	福知山成美高 A (京都府) 出口花/西美穂
第28回全日本ビーチバレー 大学男女選手権大会	8/12 (金) ～14 (日)	神奈川県 川崎市	男子：22	神戸学院大：中川/齋藤
			女子：22	産業能率大：石坪/柴
第7回全国中学生ビーチバ レー大会	8/13 (土) ～14 (日)	神奈川県 藤沢市	男子：45	沖縄県：西原東中 A
			女子：48	神奈川県：西浜中
第30回ビーチバレージャパ ン	8/26 (金) ～28 (日)	神奈川県 藤沢市	男子：56	高橋巧/長谷川徳海
			女子：8	楠原千秋/長谷川暁子

6) マーケティング事業

公益事業を安定的に推進するべく、バレーボールの社会的な価値の向上及び本会が所

有する各種プロパティの価値の向上のために適切なプロモーション活動を行い、本会事業の推進に賛同いただいている協賛社とのパートナーシップの強化及び新規協賛社の獲得に向け積極的に活動を行った。

また、本会が所有する各種標章の無断及び不適切な使用がないように適切な管理運営を行うとともに、2020年に向けて更にニーズが高まることが予想される選手肖像については、本会登録選手の肖像権に関する規程を改定し、全日本の肖像規程と学生・社会人を対象とする肖像規程の2つに分け、肖像使用料の区分や金額等の見直しを行い、クライアントにとってより使用しやすい肖像規程とするとともに、長期的視点からの無体財産価値向上に努めた。

(7) バレーボール用品・用具の公認・推薦及び公認物品販売事業

競技の公正、安全ほか競技者が安心して楽しくプレーできるように、ボール、ネットほか用品・用具の公認・推薦の認定を行うとともに、競技者及び体育施設等へ、より良い用品・用具が提供されるよう、販売・製造事業者への働きかけを行った。また、バレーボール用品・用器具のメンテナンス徹底について全加盟団体に依頼文書を発信し、事故防止に努めた。

また、公認審判員やソフトバレーリーダーなどに対しては、資格保有者としての自覚を促すため、公認物品の販売を通してその着用を推奨するとともに、JVA 関係者を対象とした「JVA バッジ」の販売も引き続き行った。

国内・国際大会のバレーボール観戦者や国内大会の出場者に対しては、観戦や出場を通して国民の一体感、真摯な挑戦やその姿を見ることによる感動など、豊かな人間性を育み、一人一人の満足度を向上させることを目的に、応援グッズや参加記念品ほか本会公認物品の販売を行った。

(8) 出版物等販売事業

バレーボールの愛好者、審判員、指導者をはじめとする多くの国民に対し、最新のルール情報を提供するために、公認ルールブックであるバレーボール6人制競技規則、同9人制競技規則、ソフトバレーボール競技規則、ビーチバレーボール競技規則の出版販売を行った。また、6人制・9人制競技規則に続いて、2017年度版よりビーチバレーボール競技規則もケースブックとあわせて1冊にまとめて内容の充実を図るべく、取り組んだ。また、ビーチバレーボール教本の作成にも着手した。

(9) Vリーグ開催及び開催支援事業

Vリーグ機構が全国各地で開催するVプレミア・チャレンジリーグのジュリー、審判員を派遣し、大会運営における支援を行った。※下記は派遣業務委託実績

区 分	JURY	審判員	チャレンジレフェリー	合計
V・プレミアリーグ男子	66	214	60	340
V・プレミアリーグ女子	59	214	55	328
合計	125名	428名	115名	668名

(10) 地域グループ育成・強化支援事業

本年度は、東京急行電鉄株式会社主催の東日本大震災復興支援活動「子どもたちに笑顔をもたせようプロジェクト」の一環として、2017/2/20(月)に、復興支援バレーボール教室

を開催した。講師は、アテネオリンピックで活躍した大山加奈さん(公益財団法人日本バレーボール協会・広報委員)と、インドア・ビーチバレーボールで活躍した大山未希さんの姉妹が務め、宮城県バレーボール協会の協力のもと大盛況のうちに終了した。

(11) 個人登録システム (MRS) の再開発

2007 年度よりインターネットで、選手、役員の個人登録をしてきたが、現行システムは 10 年が経過し陳腐化してきたことから、新システムの開発に着手した。同様のシステムの運用実績のある会社に発注し、2018 年運用を目指して開発中である。

(12) 東京 2020 大会準備室

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と連携し、バレーボール競技、ビーチバレーボール競技に関する全般業務、パラリンピック競技大会のシッティングバレーボール競技のサポート業務を行った。現状は大会運営に関する全体調整が主の中、今後は業務が細分化されていく。引き続き大会成功に向けて準備を進める。

有明アリーナ建設に関して東京都より見直しがされた。JVA としては 2020 アクション & レガシープランを作成し、東京都に対して嘆願書及び陳情などを行い、一部設計変更はあったが、建設することが決定した。

(13) 社会貢献事業

① バレーボールバンク ※バレーボールバンク事業にも同一活動の内容を記載

2016 年 2 月に南スーダンにボールを船便で寄贈した際には、4 月にスーダンまでは届いたものの、郵便の手違いで日本へ返送されてしまった。スポーツ庁の国際貢献事業スポーツフォートゥモローの援助で、航空便を使って、再度輸送していただき、2017 年 3 月にバレーボール 1000 個を無事寄贈した。内戦中の南スーダンで授与式を行い、国連平和維持活動(PKO) で派遣中の陸上自衛隊施設部隊隊長や隊員らも出席し、同隊の有志からなるバレーボールチームと、南スーダンバレーボール協会所属のレインボーチームによる親善試合が開催された。スポーツが平和に寄与する力を見ることができた。その他、10 件ほど本会より寄贈した。

国内のバレーボールファミリーから 30 件ほどボール・シューズ・ウェア等多くの物資を寄贈いただいた。日本国内の支える思いを海外へ少しでも伝えることができた と確信している。

②環境啓発活動

JVA では、バレーボールを介して環境保全や啓発を推進するべく、従来から実施してきた大会会場での環境バナーやポスターの掲出及びアナウンスの実施等の啓発活動やゴミの分別回収等を継続するとともに、JVA の独自の取り組みとして「バレーボールバンク」事業を展開してきた。

今後とも、加盟団体やバレーボーラー、バレーボールファンの方々と連携し、積極的に環境活動に取り組んでいく。

(14) 広報活動事業

① SNS の活用

バレーボール愛好者はもとより青少年や社会人、熟年世代にスポーツを「する」「観る」「支える」の楽しさや素晴らしさを伝える広報活動をウェブサイト及びツイッター、Facebook、LINE などの SNS ツールを活用して充実させた。

② バレとも会員数の維持

2014 年度から開始したファン向け有料サイト「バレとも」で、石川祐希選手の「イタリア通信」などの独自コラムを発信。全日本の活動の様子を記事や写真で紹介し、国際大会のチケット優先販売を行うことでファンの満足度を高め、年度末には 9,000 名超の会員数を維持した。

以上